

エスペラントは心の国境を消すことばです

*Organo de Hokkajda Esperanto-Ligo*

# Heroldo de HEL

N-ro 170

Marto 2017

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- ・表紙、Enhavo/目次 P. 1
- ・ Kiel gastigantoj ni povis propagandi Esperanton P.2  
al koreaj universitataj studentoj/韓国大学生の「ホスト  
ファミリー募集」に応募し、エスペラント普及活動しました  
/JOKOJAMA Hirojuki / 横山裕之
- ・ Esperantisto OKAMOTO Joŝicugu/エスペランチスト P.4  
岡本好次/HOŜIDA Acuŝi
- ・ Letero de UEA-Vicprezidanto pri sia vizito al Hokkajdaj P.7  
Samideanoj/UEA 副会長から 若いころの北海道訪問  
について/HOŜIDA Acuŝi
- ・ Danke ricevitaĵ (星田淳扱い読みたい方はご連絡ください) P.13
- ・ Protokolo de la 2-a Komitato Kunsido de HEL/Kasjaro 2017 P.14  
2017年度 第2回北海道エスペラント連盟委員会 議事録
- ・ [編集後記/Redaktanto parolas ..... ] P.16

**Kiel gastigantoj ni povis propagandi Esperanton  
al koreaj universitataj studentoj**

韓国大学生の「ホストファミリー募集」に応募し、エスペラント普及活動しました

**JOKOJAMA Hirojuki / 横山裕之**

日本政府の「対日理解促進交流プログラム」という事業の一環で、北海道が実施している「韓日青年訪日団ホストファミリー募集」に宮沢さんと一緒に応募して韓国の大学生を受け入れました。滞在は2月4日（土）から2月6日（日）まででした。北海道では、国の関連団体から委託を受けて、北海道庁とその関連団体が連携して実施しています。

なお、札幌市の中島公園駅の近くにある韓国政府の支援を受けている「北海道韓国学園」にも応募用紙が置いてありました。

日韓の親善を目的としている事業で、日本語がある程度できる学生さんがお相手なので、韓国語はできるのが望ましいと思いますが、できなくてもコミュニケーションは取れると思います。滞在中に今年ソウルで実施する世界エスペラント大会やエスペラント全般についてのお話をして、またそれが韓国語で書かれているサイトもお知らせしました。

写真の左の人が、이 유정 イ・ユジョンさんで、右の人が송 은경 ソン・ウンギョンさんです。とても明るくて活発な人でした。ユジョンさんは、大会に参加したい、ウンギョンさんは、韓国に帰ったらエスペラントを勉強してみたいと言ってくれました。来年は奈良で日韓共同のエスペラント大会もあります。みなさんも、韓国大学生の「ホストファミリー募集」に応募してエスペラントのお話をしてみてはいかがでしょうか？ご興味があれば、詳しいことは横山にお聞きください。今年の応募できる条件は、土曜の14時半までに札幌のかでるに迎えにいけること、月曜の8時半までの札幌駅まで送っていけることで、道内のどこでもよいと担当者が言っていました。来年の2月くらいにまたあると思います。

Kun koreaj junuloj



## Esperantisto OKAMOTO Joŝicugu

エスペランチスト岡本好次

H O Ŝ I D A A c u ŝ i

(Noto de la redaktanto) : Januare en Sapporo okazis Studkunsido de Esperanto. En mia "Interparola Klaso" koreaj kaj japanaj partoprenintoj povis interparoli pri deversaj aferoj inter Koreio kaj Japanio. Ankaŭ pri japana esp-isto OKAMOTO Joŝicugu mi prezentis en la kunsido. En 1939, kiam Japana Kolonia Gubernatorejo en Koreio intencis malpermesi la korean lingvon en Koreio, li, kvankam japano, protestis kontraŭ tio. Tiama japana potenco eksigis lin el lia ofico kaj forpelis lin al Japanio.

EPA(エスペラント普及会)の行事でしたが 札幌で 1月20~22日  
冬季研修会がありました。

星田が担当した会話クラスは 韓国人5人、日本人7人+講師 で 日韓の  
歴史、文化、音楽(演歌も)などの話ができました。

私がエスペラントを始めたころ使った辞典の著者 岡本好次(よしつぐ)  
のことを きいてみました。日本人エスペランチストでも知らない人が  
多いのですね。彼について「韓国エスペラント運動史(1976,金三守著)」  
に出ていることを紹介しました。

(要約)

朝鮮が日本の植民地だった1938年3月 朝鮮教育令が改正公布され  
各種学校での「朝鮮語」科目は廃止の方針が示された。1939年4月から  
朝鮮語で発行されていた新聞雑誌は次々に廃刊に追い込まれていった。

この日本帝国主義による朝鮮語抹殺計画に対して反対の声を上げたの  
は 1937年京城(現ソウル)に赴任し 京城高商の教授だったエスペランチ  
スト 岡本好次(1900~1956)だった。

1939年4月 朝鮮語廃止を狙って開かれた「国語審議委員会」の席上

岡本は 民族語である朝鮮語を抹殺するのは非理(道理にそむくこと)である と指摘し反対意見を述べた。狂乱期の(頭にきた?)日本帝国主義は彼の教職を はく奪し日本へ追放してしまった。

-----

この事実を知っている人は日本人、韓国人ともに少ないようでした。「民族語を守り、国際的な場では国際語を」というザメンホフの考えをその通り主張した人だ ―― という声が韓国人から出ていました。歴史にはいろいろな事件がありますが 記憶にとどめておきたいこともあるようです。

私がこの件に気付いたのは 当時宮本正男が La Movado 315号(1977年5月)に書いた文(岡本好次のことなど)から かと思います。(以下一部引用)

… 岡本は … 1937年4月「日帝総督南次郎」が「朝鮮語抹殺政策」をとろうとしたとき、公開の席上で反対した唯一の日本人であったという … (宮本正男作品集2 143頁)

1990年の第77回日本エスペラント大会(横浜)に韓国から参加した S-ro 金教瑛(KIM Gjojon)は植民地時代に教育を受けた きれいな日本語を話す紳士で こう話してくれました。

「岡本先生は亡くなられているので 家族の方にごあいさつに行きたい。あの厳しい時代、先祖から伝わった言葉が奪われようとしても 朝鮮人はひとことも文句を言えなかったとき 職を賭して反対の声を上げてくれた日本人がいたことを われわれは忘れない……」

岡本家の場所や交通手段は(JEIで?)調べてあるようでした。小田急線の駅へ案内を頼まれ新宿駅へ。切符売り場の路線図を見上げた彼が行き先駅を指さして同行者たちに「サンマクテーヤ!(相模大野の韓国読み)」と叫んだ声は今も耳に残っています。

ところで『日本エスペラント運動人名辞典(2013, JEI)』の岡本の項ではこの件について

> 朝鮮E運動史において、朝鮮の国語審議会委員として

- > 朝鮮語抹殺政策に公開の席上抗議した唯一の日本人とされること
- > があるが、訛伝(誤伝)であろう。

と記されています。そう判断した理由は示されていない。

この件についての情報はほとんど「韓国エスペラント運動史(1976,金三守著)」からのもので 日本側の傍証がない(少ない?)ことからこのような判断(独断?)が出たのかもしれませんが。

この人名事典(2013年10月)の2年後(2015年11月)JEIから出た「人物でたどるエスペラント文化史/後藤斉」でも この件に触れているが(209~210頁)日本人の側の証言も あげられていて、その結果

- > エスペランティストの間では朝鮮人の側と日本人側の双方にこのような
- > 伝承があるということは 何かしら それに近い事実があったことを
- > 推定する蓋然性を高める。すなわち---- 岡本は ---- 朝鮮語擁護の
- > 姿勢を見せたこと、岡本の態度が総督府の側の忌諱に触れたこと、
- > 体制側からの追放に近い形で朝鮮を離れたこと、などである。-----

と ありますから 人名事典での

「訛伝であろう」は 取り消されたもの、と判断できます。

人名事典の出版は素晴らしいことでしたが 個人の関連資料やJEIにある歴大な資料を活用した編集は限られた時間と人では限りがありました。

まえがき に

- > ---- 残念ながら、本事典は決定版ではない。編者としては、これが
- > さらなる歴史的事実の調査と再評価につながるであろうことを
- > 期待したい。

と あります。そのとおり!! 今その

「さらなる歴史的事実の調査と再評価」は 始まっている、と感じます。

1990年の第77回日本エスペラント大会(横浜)で会った S-ro 金教瑛(KIM Gjojon)は 「韓国エスペラント運動史」ではこの件についての情報提供者となっていました。「年表」で見ると1932年6月の記事に 朝鮮エスペラント同好会(Korea Esperanto-Klubo) の中心人物の一人として名が出ていますから 韓国のEsp. 運動の大先輩でした。

**Letero de UEA-Vicprezidanto pri sia vizito  
al Hokkajdaj samideanoj  
UEA 副会長から 若いころの北海道訪問について**

**HOŜIDA Acuŝi**

UEA 副会長の S-ro Stefan MacGill から 若いころの北海道訪問についてメールが来ました。

Saluton! Mi memoras vin, kaj nia vizito al tiu ainua vilaĝo!  
Mia fratino kaj partnero bone fartas. Ŝajne ili sangis iam la  
retadreson. Restas la bieno kaj ili tie daŭre loĝas. Sed ili  
maljunigas kaj pli-malpli emeritiĝis. La ĉiutagan prizorgon de la  
bieno kaj la gastiga servo estas nun plenumata de pli junaj homoj,  
kiujn ili "dungis".

Kore

Stefan MacGill

Vicprezidanto de UEA

Respondecoj: instruado, Jaro de la Lernanto, revuo Esperanto,  
Mezoriento kaj Norda Afriko, rilatoj kun LA, FA.

Strebante je konkretaj atingoj kaj rezultoj

「アイヌ部落へ行ったのを覚えている」のは白老(民族博物館)を訪問  
したのだったか、と思います。彼が北海道の samideanoj を訪問したの  
は 1973 年 6 月、当時エスペランチストが教諭だった浜厚真小中学校と  
勇払小中学校で生徒たちに 当時彼が住んでいたニュージーランドにつ  
いて話しました。

『日本エスペラント運動人名辞典(2013, JEI)』には「マックギル」の項で彼の父 David MacGill(故人)、彼の姉 Rowena MacGill のことが出ています。

父 David は仏教に関心があつて京都の修道院<sup>に</sup>入っていたし、姉 Rowena は影絵人形劇を演じて日本全国をまわり 1988 年の第 75 回日本エスペラント大会(札幌)でも影絵人形劇を上演しました。

David さん、Rowena さんも何度か北海道に見えていますが 写真に出ているのは 1983 年 2 月、雪まつりを見に来た 2 人の歓迎会です。当時の SES の常連、S-roj 相沢、吉原、大友、木村、小樽の江口さんの顔が見えます。

“Restas la bieno” と彼のメールにある bieno は その後ニュージーランドに帰った Rowena が *partnero* Max(スイス人) と経営していた農園です。

1997 年アデライド (Adelaide, オーストラリア) での世界エスペラント大会のあと日本からの参加者何人かこの農園(名は Bergli Farm)を訪れ数日ですがゆっくり休めました。南島のクライストチャーチ (Christchurch) に近い湾に面した広大な斜面に牛、羊。アルパカが飼われていました。

Rowena さんからは次のメールが来ました。

Elkoran Dankon por via ligo.

Jes, ni bone memoras vian viziton. Kaj nun ni maljunigas kaj decidis



ke ni devas vendi la bienon, kaj translogigi al pli malgranda domo.  
 Do por ni estas granda ŝanĝo. sed ni bone fartas, kaj baldau ĝojos  
 someran ferion.  
 Bondezirojn al vi, kaj aliaj Esperantistoj en Japanio.  
 Rowena kaj Max.

もう としだから まだ元気はありますが 農場は売って引っ越し  
 ます。

日本の皆さんによろしく — とのことですね。



**Prezidanto: D-ro Mark Fettes (UEA 会長)**

## Jaro de la Lernanto

Mark Fettes – Stefan MacGill

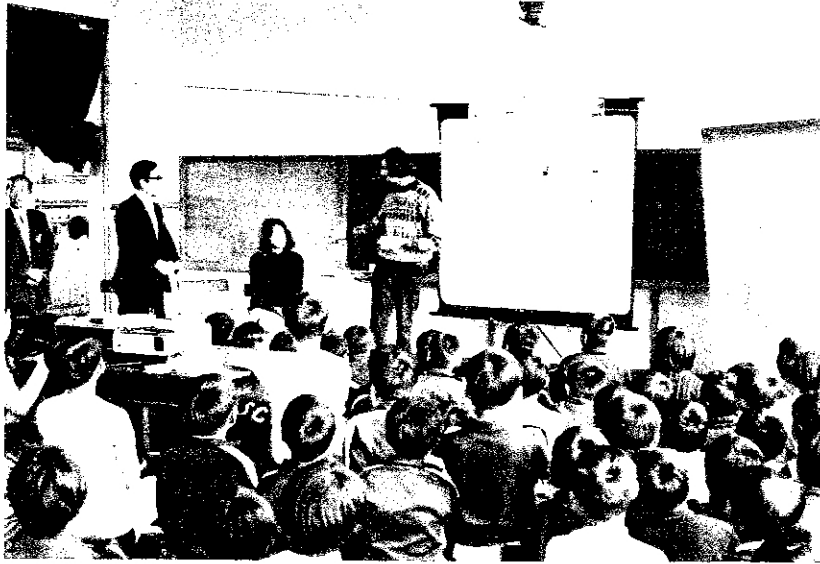
La novan teman jaron de UEA enkondukas  
 festparolo de la prezidanto de UEA kaj detala  
 dokumento de la vicprezidanto.

**Vicprezidanto: S-ro Stefan MacGill**

(UEA 副会長)

34年前の Stefan  
 (左端、イオエスイベント会にて)





Junie de 1973 antaŭ japanaj geknaboj(浜厚真小中学校)



1983年2月、Rowenaさん、Davidさんの歓迎会(札幌)

ニュージーランド南島の農場



ニュージーランド南島の農場

BERGILL HILL FARMSTAY



Rowena and Max D \* fliger. Teddington, RD1 Lyttelton. New Zealand Ph./Fax:(04) 3 329 9118 or 0274-829-410

## Danke ricevitaj (聖田津抜いー、読みたい方はご連絡ください)

\* NOVA VOJO :N-ro 536 februaro 2017, EPA(エスペラント普及会)、A5X34 頁のうちE.文 4 頁。巻頭言「一つの転換点/KINE Mikihiro」は今年ザメンホフ没後 100 年にあたって その昇天日(命日)に大本みろく殿祖霊社(綾部)で行われる 100 (年)祭と 続いて開かれる記念展示などについて。”Kaprica monata Skribo 24/月刊カプリーツァ(その24)奥脇俊臣”は哲学者 西田喜太郎と大本 について。裏表紙両面に越年エスペラント研修会(亀岡)の写真多数。

\* Novaĵoj Tamtamas; n-ro 323/februaro 2017, Internacia Gazeto de Esperanto jokohama(Hama-Rondo),A4X4 頁、エスペラント文。トップ記事は鹿児島の Jamaŝita Toŝihiro さんを迎えての源氏物語翻訳についての話(1月21日)と写真。Informo 欄の Esperantaj El-Sendoj/Mizro Iwaya は世界のエスペラント放送(インターネット)の現状紹介

\* La Tamtamo; 第 495 号、2017 年 2 月号、NPO 法人エスペラントよこはま会報。A4X10 頁、日本文。トップ記事は NPO 法人エスペラントよこはまの第 3 回総会の報告と写真。ヨコハマサローノ(学習会)の 1 月 14 日の作文の参加者 5 人のうち谷川さんのテーマは Prezentaĵo de la Aina Poema-danca Trupo “Moŝiri”(ア

イヌ詞曲舞踊団「モンリ」札幌公演の感動)。

\* Februara SFERILLO(電子受信) 毎度何かの格言(?)が紹介されている。今月はマーク・トゥエイン。

If you tell the truth, you don't have to remember anything.

Mark Twain

Se vi parolas verece, ne necesas memori ion ajn.

San Francisco Esperanto Regional Organization (SFERO);

2 月 4 日の月例会の案内と 1 月例会の報告。

\* La Movado:関西エスペラント連盟(KLEG)発行、N-ro793, marto 2017、B5x20 頁のうちE.文 7 頁。巻頭記事は Japanaj eldonaĵoj en 2016/SOMEKAWA Takatosi.

Kajero Libervola の Se mi havus Duan vivon/HIROTAKA Masaaki のタイトルは井上陽水の歌から。

タイ王国ではじめての国際合宿 “Verda Lernejo”について/田中一喜 が連載開始。Interesa tempo en Japanio/BUI Hai Mung は日本とベトナムの人と社会の比較が

おもしろい。「追悼」エスペラントを愛した さとり先生/後藤純子 は 1 月 16 日逝去された北さとりのこと。

Afrika kontinento ne nigras, sed Verdas!/TAHIRA Masako 第 6 回 アフリカ Esp.大会(12 月、タンザニア)参加記。

## Protokolo de la 2-a Komitato Kunsido de HEL/Kaajaro 2017 2017年度 第2回北海道エスペラント連盟委員会 議事録

日時：2017年1月29日（日） 13:00～14:10

場所：札幌エルプラザ2階 会議コーナー18名用

出席者：横山（司会）、後藤（純）、後藤（義）、山下、星田、川合（記録）  
（欠席：阿部）

### 【組織】

- ・新規加入者：なし。
- ・退会者：なし。
- ・未納者：機関誌発送時に振替用紙を同封した。
- ・ご逝去：佐藤不二雄氏。
- ・機関誌送付先団体の熊本 E 会：会長が数年前に逝去されたはずだが、宛先がその方のままになっている。代替りの送付先を星田委員から熊本 E 会に問い合わせる。

《後日補足》問い合わせ、送付先を変更した（星田）。

### 【財政】

（担当者欠席）

特記すべきことはなし。

### 【広報】

- ・HP：アクセス数 75 326 件（2ヶ月前比+284）になった（横山）。
- ・メールマガジン：1月10日に第170号を発行した。入門講座として E の詩の話を載せたが不備があった。次号に星田委員ら聞いた訂正内容を掲載する予定（横山）。

### 【情報・宣伝】

特記すべきことはなし。

### 【教育・研究】

- ・札幌 E 会：土曜例会では T.Sekelj 著『Ĝambo, Rafiki(Saluton, amiko の意)』を読んでいる（後藤（義））。月曜例会では『日本文化を理解する 77 の鍵』を1回1章ずつのペースで読んでいる（山下）。

・苫小牧 E 会：月 2 回の会合で『Kredu min, sinjorino!』を引き続き読んで  
いる（星田）。

・北大 E 研究会：現在、活動休止中（横山委員長確認）。

・JEI 学力検定試験：初夏合宿時か北海道大会時かで意見が割れていた（機  
関誌第 169 号 16 頁参照）が、協議の結果、初夏合宿時に実施と決定。試験  
の時間帯はこれから検討する。合宿の中で試験を行うことで研究教育部の業  
務が過多となるため、受験希望者や JEI との連絡については横山委員長が代  
行する。横山委員長も受験者の一人であるため、受験者が扱えない試験関連  
業務については星田委員が担当する。後藤（純）研究教育担当委員は合宿の  
学習会の業務にのみ専念する。2 級の受験希望者がいるが、この試験の実施  
が（日本大会でなく）地方 E 行事中に実施可能なのか、横山委員長から JEI  
に問い合わせる。

#### 【機関誌】

・1 月 29 日、「Heroldo de HEL」第 169 号（18 頁）、90 部印刷・発行（星  
田）。

・次号は次回委員会時発行。

#### 【年間計画】

##### 【初夏合宿】

・今年も柴田内科循環器科研修センター（札幌市西区）を借用する。従来、  
大本の大祭の日にこの会場を借りていたが、大本信徒の方が合宿に参加でき  
ない結果になっていた。

⇒大祭以外の日に合宿をしてはどうか（後藤（純））。

⇒都合のよい日程を柴田真吾氏（会場持ち主）に相談する（星田）。

《後日補足》問い合わせて、柴田氏の希望される日時を受信した  
（6 月 3-4 日 ー星田）。

・JEI 学力検定を実施する（→「教育・研究」の項）。

##### 【北海道大会】

・会場は確保した。10 月 21 日（土）は SES 例会で借りている部屋を流用。  
10 月 22 日（日）午前は会議室 1020（30 人規模）を予約した（後藤（純））。

・10 月 22 日（日）のプログラム（公開番組）は、演者（講師）の帰宅の都  
合を考えて、午前中に設定するのがよい（後藤（純））。

・来てもらいたい外部講師を早めに考えよう（後藤（純））。

[社会活動]

・関西大会、関東大会にサハリンの A.モルチャノフ氏を招く計画があったが実現しなかった。

[次回委員会]

2017年3月5日（日）13時より。場所は札幌エルプラザ2階会議コーナー（12名用）。同日10時より機関誌の印刷を行う。

以上

[編集後記 / Redaktanto parolas .....]

\*「ホストファミリー」はエスペラントと関係ない市民活動ですが今年は韓国で世界大会があるし、PRのチャンスが作れそうですね。ほかにももっとつかめるチャンスを逃さないようにしましょう。

\*少し記事不足の感じがあり昔のことを思い出して 付き合いのあったあの人は今どうか、をあたってみました。あの時の若者、今は UEA の副会長でした。” Letero de UEA-Vicprezidanto ... “, お読みください。

\*\*\*\*\*

北海道エスペラント連盟 会費/年  
正会員 3000円、 青年会員（26歳未満） 1500円、  
購読会員 2000円、 家族会員、失業者など割引 1000円

|  |   |
|--|---|
| HOKKAIDA ESPERANTO-LIGO  | 北海道エスペラント連盟                             |
| *Redaktas la Organo Peko de HEL  | *編集：連盟機関誌部                              |
| c'è HOSIDA Acus'i  | 〒053-0844 苫小牧市                          |
| Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI  | 宮の森町2丁目18-18                            |
| 053-0844 JAPANIO   | 星田 淳 方                                  |
| TEL-FAKS: 0144-74-2539   | Retadreso: hosidaacus@kir.biglobe.ne.jp |
| *Sekretari@: KAWAI Yuka  | *事務局：川合由香                               |
| N-ro 100, Simin-Katudo-Sapoto-Sent1  | 〒060-0808 札幌市北区                         |
| Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3  | 北8条西3丁目札幌エルプラザ                          |
| Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio   | 市民活動サポートセンター レターケースNo.100               |
| TEL-FAKS: 0126-35-7153   |   |
| Retadreso: kunespere@olive.plala.or.jp   |   |
| *ITT-ejo : <a href="http://www.hokkaido-esp-ligo.jp/jp/index/index-j.htm">http://www.hokkaido-esp-ligo.jp/jp/index/index-j.htm</a> |   |
| *Pos tg irkonto (郵便振替) : 02700-6-17075   |   |